

# 慢性頭痛 生活の質低下 新薬発売 治療に選択肢

「痛み」は、最も一般的な症状の一つですが、脳神経外科における「痛み」の代表は頭痛です。中でもくも膜下出血、脳出血、脳腫瘍、外傷、髄膜炎などの疾患で引き起こされる頭痛が有名です

## 健康マエール

愛媛県医師会

が、最も頻度が多いのは片頭痛や緊張型頭痛(いわゆる肩こり頭痛)などの慢性的な頭痛です。

片頭痛・緊張型頭痛は命を脅かす病気ではないため、とりあえず市販の頭痛薬を飲んでほしいという患者さんが多いように感じます。頭痛の患者

### 脳神経外科で扱う「痛み」

松山市民病院脳神経外科 小坂 洋志

れており、月1回の注射で、当科の経験では7〜8割の患者さんで、内服薬の減量や中止が可能となっており、また、新たな急性期治療薬も発売されており、治療の選択肢は広がっています。こうした適切な治療を受けることで症状が減り、生活の質が一変する可能性があります。

やや特殊な頭痛として脳脊髄液減少症という疾患があります。交通事故によるむち打ちや、急な首の振り向き・激しいせき込み、強い鼻かみなどのささいな外傷で起こり、脊髄周囲での脳脊髄液の漏れが生じて症状を引き起こします。

起立性頭痛が特徴で、横になっていると痛みはありますが起き上がることで、顔の片側に発作的に激痛が起こり、洗顔・食事・歯磨き等で誘発され

カルバマゼピンという抗てんかん薬がよく効くため、治療はカルバマゼピンの内服が第一選択となりますが、完治を考えると脳神経外科治療が唯一の選択肢となります。微小血管減圧術という手術を行い、痛みをもたらす原因となる血管を三叉神経から引き離して症状の改善を図ります。

県医師会ホームページ <http://www.chime.med.or.jp/>